

製品安全データシート

作成: 2020年2月27日

改定: 年 月 日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	2019-nCoV 検出蛍光リアルタイム RT-PCR キット
構成試薬	2019-nCoV Reaction Mix 2019-nCoV Enzyme Mix 2019-nCoV Positive control 2019-nCoV Blank control
会社名	シスメックス株式会社
所在地	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
連絡先	シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL : (078) 991-1911 (代表) FAX : (078) 991-191

2. 危険有害性の要約

	2019-nCoV Reaction Mix	2019-nCoV Enzyme Mix 2019-nCoV Positive control 2019-nCoV Blank control
GHS 分類の記載		
物理化学的危険性	区分外	区分外
健康に関する有害性		
急性毒性 (経口)	区分 4	区分外
急性毒性 (経皮)	区分 4	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分 2	区分外
特定標的臓器有害性 (単回暴露)	区分 1	区分外
環境に対する有害性		
水生環境慢性有害性	区分 3	区分外
GHS ラベル要素		
GHS 絵表示	2019-nCoV Reaction Mix 	
喚起語	危険	
危険有害性情報	H302 飲み込むと有害 H312 皮膚に接触すると有害 H315 皮膚刺激 H370 飲み込むと中枢神経系に損傷を与える H412 長期的影響により水生生物に有害	
注意書き		
安全対策	H102 子供の手の届かないところに保管する H103 使用前にラベルをよく読む H260 ミスト、蒸気、スプレーを吸わない H264 取扱い後は多量の水と石鹼でよく洗う H270 取扱い中に飲食または喫煙をしない	

応急措置	H273 環境への放出を避ける
	H280 保護手袋/保護衣/安全眼鏡を着用する
	H101 医学的な助言が必要な時は製品容器やラベルを持参する
	H301+310 飲み込んだ場合は直ちに医師に連絡する
	H330 口をすすぐ
	H302+352 皮膚に付着した場合、水と石鹸でよく洗う
	H362 汚染された衣類を脱ぎ、再使用前に洗濯する
	H332+313 皮膚刺激が生じた場合は医師の診察を受ける
	H312 体調が悪い時は医師に連絡する
	廃棄

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分	2019-nCoV Reaction Mix : 混合物 2019-nCoV Enzyme Mix : 混合物 2019-nCoV Positive control : 単一製品 2019-nCoV Blank control : 単一製品
化学的特性に関する情報 危険有害成分	水溶液 構成試薬のうち 2019-nCoV Reaction Mix はテトラメチルアンモニウムクロリド、2019-nCoV Enzyme Mix はグリセロールを含有する。すべての構成試薬で毒劇物取締法、PRTR 法及び労働安全性法の対象物質は含まない。
化学名又は一般名 濃度 (範囲)	テトラメチルアンモニウムクロリド 1-10% w/w
化学式	C4H12NC1
CAS 番号	75-57-0
官報公示整理番号 化審法	(2)-186
安衛法	公表化学物質
化学名又は一般名 濃度 (範囲)	グリセロール 30-60% w/w
化学式	C3H8O3
CAS 番号	56-81-5
官報公示整理番号 化審法	(2)-242
安衛法	公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は医師の診断を受ける。
目に入った場合	直ちに多量の水でまぶたを持ち上げながら 15 分間洗い流す。炎症がおさまらない場合は医師の診断を受ける。
飲込んだ場合	水で口を洗浄し、水を飲ませる。嘔吐した場合はさらに水を飲ませる。必要なら医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護	特に必要ない。
暴露によって生じる症状	毒性情報については 11 項を参照すること。
医師に対する特別な注意事項	症状に対応した対処療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	水泡 (もしくは水噴霧)、泡沫、乾燥剤(二酸化炭素、乾燥化学粉末)を使用する。
特有危険有害性	不燃性液体
消火を行う者の保護	蒸気または燃焼生成物に暴露するおそれがある場合は自給式

注意事項	<p>呼吸器及び適切な防護服を着用する。</p> <p>[2019-nCoV Enzyme Mix] 酸化剤、酸、酸化鉛、無水酢酸、酸化クロム、アルカリ金属及びアニリンと反応する。塩素酸カリウムとの接触で爆発する可能性がある。</p> <p>[その他の構成試薬] 可燃性ではないが水性成分の残留物が蒸発した後に引火すると燃焼し、有毒ガスが発生する可能性がある。</p>
------	--

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	<p>保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。眼、皮膚、衣類に触れないようにする。蒸気の吸入を避ける。適切な保護用具を着用する。排水路や水路への流出を防止する。</p>
環境に対する注意事項	<p>下水または水路の汚染が発生した場合は関係する行政当局に報告する。</p>
封込め及び浄化の方法・機材	<p>危険性がなければ漏れを止める。砂や土壌などの不活性吸収性物質を使用して漏出物を回収し、密閉式の容器またはドラムに入れて廃棄する。汚染された区域及び物品を水または洗剤で洗浄する。</p>

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	<p>正しく測定するために添付文書の記載内容に従う。</p>
安全取扱い注意事項	<p>適切な保護具を使用する。眼、皮膚及び衣類に接触しないようにする。蒸気や噴霧の吸入を避ける。換気のよい場所で扱う。使用後は十分に手を洗う。</p>
保管	
適切な保管条件	<p>-18℃以下で保管する。</p>
容器包装材料	<p>ポリプロピレン</p>
保管注意事項	<p>使用しない時は元の容器に入れて密閉する。定期的に漏れがないか確認する。</p> <p>[2019-nCoV Reaction Mix] 容器は酸化剤、アルカリ、食品から離し、自立して保管する。</p> <p>[2019-nCoV Enzyme Mix] 容器は酸化剤、塩素酸カリウム、酸、酸化鉛、無水酢酸、酸化クロム、アルカリ金属、アニリン、エチレンオキシド、食品から離し、自立して保管する。</p> <p>[2019-nCoV Positive control、2019-nCoV Blank control] 容器は酸化剤、食品から離し、自立して保管する。</p>

8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	
日本産業衛生学会	情報なし
ACGIH	情報なし
設備対策	特に必要ない
保護具	
呼吸の保護具	保護マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	長袖長裾作業衣
その他	吸入は避ける。使用後は手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的性状、形状、色など	2019-nCoV Reaction Mix : 凍結品 (溶解時は透明液体) 2019-nCoV Enzyme Mix : 透明液体 2019-nCoV Positive control : 凍結品 (溶解時は透明液体) 2019-nCoV Blank control : 凍結品 (溶解時は透明液体)
pH	2019-nCoV Reaction Mix : データなし 2019-nCoV Enzyme Mix : 7.5 2019-nCoV Positive control : 8.0 2019-nCoV Blank control : 7.0
	[以下すべての構成試薬に共通]
臭い	データなし
融点	データなし
沸点	データなし
引火点	水溶液のため引火性はない
蒸気圧	データなし
比重 (相対密度)	約 1.0
溶解度	水に溶ける
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	常温では発火しない
分解温度	データなし
粘度	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の手扱いで安定
危険有害反応可能性	通常の保管及び使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	極端な温度と直射日光を避ける。
混触危険物質	[2019-nCoV Reaction Mix] 酸化剤やアルカリと反応する。 [2019-nCoV Enzyme Mix] 反応性/不適合物質: 酸化剤、酸、酸化鉛、無水酢酸、酸化クロム、アルカリ金属、アニリン、エチレンオキシドと反応する。塩素酸カリウムとの接触で爆発する可能性がある。 [2019-nCoV Positive control、2019-nCoV Blank control] 酸化剤と反応する。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物、窒素酸化物、煙、有毒ガス

11. 有害性情報

急性毒性	テトラメチルアンモニウムクロリド : ラット 経口 LD ₅₀ 50 mg/kg ラット 経皮 LD ₅₀ 537 mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	有害性なし
生殖細胞変異原性	データなし
発癌性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回曝露)	テトラメチルアンモニウムクロリド: 飲み込んだ場合、中枢神経系に影響
特定標的臓器毒性 (反復曝露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	有害性なし
その他情報	飲み込んだ場合: 吐き気、嘔吐、腹痛

皮膚に付着した場合：刺激性
眼に入った場合：刺激性
吸入した場合：刺激性

12. 環境影響情報

生態毒性	テトラメチルアンモニウムクロリド： 魚類（ファットヘッドミノー） $LC_{50}= 462 \text{ mg/L/96Hr}$ 甲殻類（オオミジンコ） $NOEC_{50} 0.03 \text{ mg/L/11day}$ グリセロール： 甲殻類（オオミジンコ） $LC_{50} >10,000 \text{ mg/L/24Hr}$ 藻類（アオコ） $EC_{50} 2900 \text{ mg/L/48Hr}$
残留性／分解性	テトラメチルアンモニウムクロリド：速やかに分解する グリセロール：速やかに分解する
生体蓄積性	テトラメチルアンモニウムクロリド：リスク低 グリセロール：リスク低
土壤中の移動性	グリセロール：移動性高
オゾン層への有害性	影響なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	排水しない。水質汚濁防止法等の関連法規及び各地方自治体の条例に従い処理する。上記方法による処理ができない場合は行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則	輸送危険物に該当しない
国際海上危険物規則	輸送危険物に該当しない
国内規制	
陸上「鉄道／道路」	輸送危険物に該当しない
海上	輸送危険物に該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	容器、包装に漏れのないことを確認して、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

適用される法規制	医薬品医療機器等法（体外診断用医薬品）
----------	---------------------

16. その他の情報

一般的注意	ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。
-------	---